

薬だつ知識

七味唐辛子をうどんやそばに一振りすると夏バテで低下しがちな食欲がわいてきます。

七味唐辛子には唐辛子のほかサンショウ、麻の実、ゴマ、けしの実、青のり、シヨウガといった七つのスパイスが入っています。

「麻の実」とは、大麻草の種子のことで、大麻草は茎から丈夫な繊維も取れるため、古くから栽培・利用されてきました。現在では大麻取締法で取り締まられており、無許可での栽培や所持等は禁止されています。なぜ大麻が厳しく取り締まられているのでしょうか。

大麻とは、大麻草（カンナビス・サティバ・エル）およびその製品をいいます。大麻草の成熟した茎、およびその茎から作られる繊維などの製品（樹脂を除く）のほか、種子などは規制対象から除かれます。

種子は七味唐辛子の成分でもあり、鳥の餌

神経回路の成長を阻害

47. 大麻

としても販売されていますが、発芽しないように処理されています。一方、マリファナは大麻草の花、茎、種子、葉などを乾燥し切り刻んだ混合物であり、規制の対象となります。

大麻草は、成長が早く、大きいものは草丈が3メートルにもなりますが、種子をつけた後は枯れてしまいます。葉は、細長い柄の先に3〜9枚（通常は奇数）の小葉が集まって手のひらのような形になっており、大きさは10〜20センチです。葉や穂に含まれる有害成分「テトラヒドロカンナビノール」には、人体における神経回路の成長阻害作用を有することが明らかとなっており、幻覚作用や記憶への影響、学習能力の低下などをもたらします。

厚生労働省によると、大麻に関する摘発者数は2014年以降増加しており、乱用拡大が懸念されています。押収される大麻は、植物片や大麻樹脂以外に、有害成分を濃縮した粘性の物質、食品の形状をしたものなど、さまざまなものが出回っています。一見すると大麻には見えない物質でも、大麻取締法で規制されている物質もあります。怪しい薬物には絶対に手を出さないでください。



七味に含まれている麻の実規制対象外で発芽しないよう処理されている（画像の一部を加工しています）

「薬だつ知識」は毎週第2金曜日に掲載します。

くらし面への投稿、意見は〒890-8603 南日本新聞社文化生活部（住所不要）、電話099(813)5133、ファクス099(813)5180、メールkurashi@373news.com

「令和3年9月10日（金）掲載（47. 大麻）」